

# 令和5年通常総会議案書

と き 令和5年6月5日（月）  
午後1時

ところ 広島商工会議所202号室  
(広島市中区基町5番44号)

公益社団法人 広島消費者協会



## 次 第

### I 通常総会（午後1時～）

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 令和5年度消費者支援功労者表彰（ベスト消費者サポーター章）の授与
- 5 議長選出
- 6 議事録署名人選任
- 7 出席会員数報告
- 8 議 事
  - 第1号議案 令和4年度事業報告 ..... 1
  - 第2号議案 令和4年度決算報告 ..... 6
- 9 閉 会

### II 講演会（午後2時～）

- 1 第3次広島市消費生活基本計画について  
説明者 広島市消費生活センター所長 山越 重範 氏
- 2 講 演  
テーマ 「安心・安全な取引社会の形成  
～悪質不動産取引等と意思形成過程～」  
講 師 広島大学名誉教授・弁護士 鳥谷部 茂 氏

## 第1号議案

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## I 公益目的事業

### 1 消費生活改善合理化を図るための教育活動事業（公1）

- (1) 会報の発行  
「消費生活ひろしま」No.96の発行（12月発行、A4版8頁、1,000部）
- (2) 事業報告書の発行  
令和3年度報告（第51回）の発行（6月発行、A4版12頁、400部）
- (3) 広島市消費者月間事業（主催：広島市消費者月間事業実行委員会）への参画  
令和4年6月28日（火）の「広島東洋カープ県・市合同応援デー」に合わせ、マツダスタジアムで会員3名が市職員とともに消費者被害防止・相談等を啓発するカープ応援うちわを配付。  
また、市が球場内大型ビジョンで消費者被害防止PR動画を放映
- (4) 三者懇談会（広島市消費者月間協賛事業）の開催  
三者懇談会としては実施なし。後記2(1)のコンファレンスにその形式を取り入れて実施
- (5) 講演会（通常総会記念講演会）の開催
  - ・日 時 令和4年5月30日（月）14：15～15：30
  - ・場 所 広島商工会議所2階202号室
  - ・テーマ 「新型コロナウイルス感染症の収束に向けて」
  - ・講 師 広島大学大学院 医系科学研究科ウイルス学教授 坂口 剛正 氏
  - ・参加者 39名（正会員29名、賛助会員10名）

### 2 消費経済及び消費者の生活状況の調査研究・監視など調査研究活動事業（公2）

- (1) 消費生活問題広島コンファレンスの開催
  - ・名 称 令和4年度広島消費問題研究会シンポジウム
  - ・日 時 令和4年6月26日（日）13：30～15：45
  - ・場 所 サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5階）
  - ・テーマ 「考えよう！大人になるとできること、気を付けること ～18才から大人に～」
  - ・共 催 広島県消費者団体連絡協議会、（公社）広島消費者協会
  - ・後 援 広島県、広島市
  - ・来 賓 広島市消費生活センター所長 藤本 忠承 氏
  - ・内 容 基調講演 13：40～
    - 演 題 「新成年のための消費者教育」
    - 講 師 広島修道大学商学部 教授 柏木 信一 氏シンポジウム 14：25～
    - コーディネーター 柏木 信一 氏
    - パネリスト 行 政 広島市消費生活センター主幹 江藤 浩光 氏
    - 事業者 日本貸金業協会審議役 遠藤 清一 氏
    - 消費者 大学生1名（広島県立観音寺大学1年）
    - 高校生1名（広島県立広島高等学校2年）

- ・方 法 会場及びオンライン参加（Zoom）によるハイブリット形式
  - ・参加者 53名（会場参加37名、オンライン参加16名）
- (2) 消費者問題研究活動
- 国民生活センター主催の全国消費者フォーラムにおける当協会会長の報告発表
- ・日 時 令和5年2月21日（火）13：50～（約20分間）
  - ・テーマ 「消費者教育と消費者団体の発展的活動のあり方について～シンポジウム開催をとおしてわかったこと」（広島修道大学商学部 柏木 信一教授との共同報告）
  - ・方 法 Zoom ミーティングを使ったリアルタイム配信
  - ・参加者 約600名
- (3) 消費者問題に関する調査の実施
- ア 食品表示ウォッチャーによる表示点検の実施（広島県からの協力依頼）
- 広島県消費者団体連絡協議会の構成団体として、12月に会員が市内スーパー等48店舗に置いて「いか天」の表示点検を108件実施（広島県全体715件）
- イ 家電製品正しい表示店頭キャンペーンへの参加（主催：（公社）全国家庭電気製品公正取引協議会）
- ・日 時 令和4年11月17日（木）9：30～14：00
  - ・場 所 （事前説明）広島市中区民文化センター  
（表示点検）エディオンアルパーク南店及びヤマダ電機 Tecc LIFE SELECT 広島アルパーク店
  - ・参加者 会員2名
- ウ 包装食パン表示検査会への参加（主催：日本パン公正取引協議会）
- ・日 時 令和5年3月10日（金）12：15～16：00
  - ・場 所 広島ガーデンパレス2階 錦
  - ・参加者 会員6名

### 3 地区の実情に応じた消費生活に関する地区活動事業（公3）

◎ 地区活動事業一覧表

行政 区	地 区	会 員 数 (人)	開 リ ー ダ ー 会 の 催	(回・ 部 数) 地 区 情 報 紙	懇 談 会	地 月 区 間 懇 談 会 業	勉 強 会 他	施 設 見 学	料 理 講 習 会	参 加 地 域 の 催 し へ の 等	その他（備考）
中	千田	42	12								
東	戸坂	9	12					1			施設見学：地区会員7名が3月に中工場及び西部リサイクルプラザを見学
西	観音	31	12				1				勉強会：11月にものづくり教室を開催、地区会員11名が参加
安佐南	西原	2	10								
安芸	安芸	9	12								
その他 (地区に属しない)		27									
計		120	58				1	1			

#### 4 一般消費者の利益保護、増進を目的とした啓発活動事業（公4）

##### (1) 消費者大学講座の開催（広島市受託事業）

- ・ 目 的 消費生活問題に対する学習意欲の高い市民等を対象とし、「消費者力を獲得する」をテーマに、消費者活動を担う人材づくりを目的として開催
- ・ 実施期間 令和4年10月30日(日)～12月18日 [全8回] 毎回 13:30-15:30 (2H)
- ・ 場 所 広島市消費生活センター研修室（アクア広島センター街9階）
- ・ 受講者 一般市民延べ84名
- ・ 内容等

回	日 時	内 容	講 師
1	10/30(日)	オリエンテーション 消費者の役割(消費者問題、消費者行政など)	(公社) 広島消費者協会理事 広島市消費生活センター 所長 藤本 忠承 氏 消費生活相談員 河中 由紀 氏
2	11/ 6(日)	契約(契約の基本、関連法、クーリング・オフ、インターネット取引、電子契約、トラブルの多い商法など)	鯉城総合法律事務所 弁護士 原田 武彦 氏
3	11/13(日)	インターネット(パソコン・スマートフォン)のセキュリティ対策など)	独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター(IPA/ISEC)企画部 セキュリティ支援グループ主幹 石田 淳一 氏
4	11/20(日)	生活設計(金融商品、保険、決済方法、税金、多重債務、相続・遺言など)	広島県金融広報委員会 金融広報アドバイザー(ファイナンシャルプランナー) 倉橋 孝博 氏
5	11/27(日)	衣生活(繊維と布の種類、衣服の管理、クリーニング、表示、安全性など)	広島女学院大学人間生活学部生活デザイン学科 准教授 檜崎 久美子 氏
6	12/ 4(日)	食生活(健康と栄養、食品安全、食品表示など)	広島市健康福祉局健康推進課 専門員(管理栄養士) 高村 恵 氏 広島市健康福祉局食品保健課 課長補佐 藤本 美香 氏
7	12/11(日)	くらしの安全(製品安全4法、リコール、製品事故など)	中国経済産業局産業部消費経済課製品安全室 製品安全専門職 高橋 洋佑 氏 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 中国支所長 東瀬 貴志 氏
8	12/18(日)	環境(地球環境、環境政策、エネルギー、循環型社会、環境と暮らしなど) 懇談会(当協会の活動紹介など)、 修了式	広島県環境県民局環境政策課 主査 沖本 真朗 氏 (公社) 広島消費者協会理事

##### (2) 消費生活出前講座の開催（広島市受託事業）

地域団体等の申出により、消費生活相談員等の資格を有する登録講師を派遣し、講習を実施

- ・ 目 的 「自立した消費者」の育成、消費者被害の未然防止・拡大防止等
- ・ 対象者 広島市内在住等の概ね15名以上
- ・ 時 間 1～2時間程度(土・日・祝日可)
- ・ 実 績 開催回数79回 延べ受講者数2,968人

(3) 「消費者のつどい2022」(主催：広島県消費者団体連絡協議会)への参画

- ・日時 令和4年11月7日(月) 13:30~16:00
- ・場所 サテライトキャンパスひろしま(広島県民文化センター5階)
- ・主催 広島県、広島県消費者団体連絡協議会
- ・対象 消費者団体会員及び一般消費者
- ・内容 第一部 消費者団体活動報告  
報告団体 (公社)広島消費者協会、呉市消費者協議会  
第二部 講演会  
演題 「だまされない消費者になるための心理学」  
講師 中央大学文学部教授 有賀 敦紀 氏
- ・参加者 100名(会場参加37名、オンライン参加63名)  
うち、当協会：理事、幹事等9名(会場参加8名、オンライン参加1名)

## II 会員の資質向上のための事業(他1)

### 1 他団体等との懇談会等の実施

日程	内 容	参加者
令和4年9月14日(水)	生命保険協会との意見交換会 (主催) (一社)生命保険協会広島県協会 (内容) 生命保険業界の概要・取組の説明及び各委員からの事前質問に対する回答 (場所) 日本生命保険(相)広島支社 5階会議室	生命保険協会広島県協会等 10名、生命保険会社5名、 消費者団体9名 (うち、当協会：理事1名)
令和4年11月30日(水)	公正取引委員会との懇談会及び講演会 ア 懇談会 (主催) 公正取引委員会中国支所 (場所) 広島市文化交流会館4階 すみれ (内容) 公正取引委員会委員と広島地区有識者との意見交換 イ 講演会 (講演者) 公正取引委員会委員 三村 晶子 氏 (テーマ) 「公正取引委員会の役割と社会経済の変化に対応した競争政策」 (場所) 広島市文化交流会館2階 ルミエール	公取委：委員1名 事務局2名 広島地区有識者：5名 (うち、当協会：会長1名)  一般約40名 (うち、当協会：理事2名 賛助会員2名)
令和4年12月12日(月)	中国電力(株)による電気料金見直し等の説明会 (共催) 中国電力(株)、(公社)広島消費者協会 (内容) 一般家庭が対象となる低圧部門の電気料金の見直しと経営効率化等の取組についての説明及び質疑・意見交換 (場所) 広島市消費生活センター研修室	中国電力(株)：地域共創本部 等職員3名 当協会：理事・幹事等11名

※ 前頁（他団体等との懇談会等の実施）の続き

日 程	内 容	参 加 者
令和5年1月28日(土)	第9回農を取りまく情報交流の広場 (主催) 農林水産省中国四国農政局広島県拠点 (場所) サテライトキャンパスひろしま (テーマ) 「27年先(2050年)の食と農を 考える～持続可能な食料システムの構築に 向けて～」 (内容) 基調講演「みどりの食料戦略システムにつ いて」(農水省)、パネリスト所属団体の活動報 告、参加者との意見交換、自由交流等	コーディネーター 1名 パネリスト 4名 (うち、当協会:理事1名) 参加者約 40名 農水省職員、生産者、販売者等 (うち、当協会:理事、会員数名 が会場又はオンライン参加)
令和5年2月20日(月)	広島ガス(株)との定例懇談会 (共催) 広島ガス株式会社、(公社) 広島消費者協会 (場所) 広島ガスショールーム ガストピアセンター (内容) 広島ガスグループの概要、原料調達のサ プライチェーンの説明、サイエンスショー並 びに質疑応答及び意見交換	広島ガス(株)広報室: 3名 サイエンスショースタッフ: 3名(委託) 当協会: 理事・会員 23名
令和5年3月13日(月)	J A 広島市による小豆のプロモーション (共催) J A 広島市、(公社) 広島消費者協会 (場所) 広島市消費生活センター研修室 (内容) 広島市を含む広島県を小豆の産地とし て復活させる活動、広島産小豆のブランド 化等について説明を受け、今後の協働活動 の可能性を検討	J A 広島市: 職員 3名 当協会: 理事・幹事等 10名

## 2 産地視察交流の実施

月 日	内 容	参 加 者
令和4年11月4日(金)	産地視察交流会 (目的) 伝統産業の伝承の取組や名産品の生産・販 売等の学習、生産者等との交流 (場所) たたら製鉄、舞茸奥出雲生産工場(島根県 奥出雲町) (内容) 「たたら製鉄」により刀剣製作の材料とな る「玉鋼」を生産する「鉄師 櫻井家」の見学、 「奥出雲たたらと刀剣館」で「玉鋼」の生産 工程を見学・学習、「舞茸奥出雲生産工場」の 見学と収穫体験	理事・会員 29名



## 令和4年度 決算報告

## 1 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	450	460	△ 10
受取会費			
正会員受取会費	120,000	174,000	△ 54,000
賛助会員受取会費	1,510,000	1,630,000	△ 120,000
事業収益			
広島市受託事業収益	3,342,682	2,847,390	495,292
受取補助金等			
広島市受取補助金	5,178,192	5,184,595	△ 6,403
受取負担金			
受取負担金	38,720	22,350	16,370
雑収益			
受取利息	23	19	4
経常収益計	10,190,067	9,858,814	331,253
(2) 経常費用			
事業費	7,960,607	7,417,758	542,849
給料手当	4,929,040	4,892,497	36,543
賞与引当金繰入額	169,020	168,520	500
福利厚生費	847,137	831,614	15,523
旅費交通費	51,860	47,120	4,740
通信運搬費	224,630	184,401	40,229
消耗品費	837,418	481,330	356,088
印刷製本費	67,023	74,800	△ 7,777
賃借料	225,000	279,490	△ 54,490
保険料	1,011	1,000	11
諸謝金	584,200	436,800	147,400
租税公課	10,600	10,600	0
委託費	0	0	0
食糧費	800	0	800
支払手数料	12,868	9,586	3,282
管理費	2,420,224	2,743,187	△ 322,963
給料手当	1,689,247	1,687,550	1,697
賞与引当金繰入額	60,668	60,514	154
福利厚生費	291,062	286,846	4,216
旅費交通費	218,020	196,600	21,420
通信運搬費	15,933	13,663	2,270
消耗品費	14,200	359,904	△ 345,704
印刷製本費	22,770	18,480	4,290
賃借料	16,610	39,160	△ 22,550
租税公課	21,000	21,000	0
支払負担金	36,000	36,000	0
委託費	0	0	0
支払手数料	19,714	18,470	1,244
交際費	15,000	5,000	10,000
経常費用計	10,380,831	10,160,945	219,886
当期経常増減額	△ 190,764	△ 302,131	111,367

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増加額	△ 190,764	△ 302,131	111,367
一般正味財産期首残高	22,580,197	22,882,328	△ 302,131
一般正味財産期末残高	22,389,433	22,580,197	△ 190,764
Ⅱ 正味財産期末残高	22,389,433	22,580,197	△ 190,764

2 正味財産増減計算書内訳表 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目	公益目的事業会計						計	収益事業等会計 他1	法人会計	合計
	公1 (教育活動)	公2 (調査研究活動)	公3 (地区活動)	公4 (啓発活動)	共通					
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	0	0	0	0	450	450	0	0	0	450
受取会費										
正会員受取会費	22,133	877	10,080	34,932	0	68,022	23,268	28,710		120,000
賛助会員受取会費	177,563	11,036	126,840	439,561	0	755,000	292,789	462,211		1,510,000
事業収益										
広島市受託事業収益	0	0	0	3,342,682	0	3,342,682	0	0	0	3,342,682
受取補助金等										
広島市受取補助金	1,107,987	591,883	292,173	395,246	0	2,387,289	1,052,364	1,738,539		5,178,192
受取負担金	0	38,720		0	0	38,720	0	0	0	38,720
雑収益										
受取利息	0	0	0	0	23	23	0	0	0	23
経常収益計	1,307,683	642,516	429,093	4,212,421	473	6,592,186	1,368,421	2,229,460		10,190,067
経常費用										
事業費										
給料手当	1,308,156	642,516	429,093	4,212,421	0	6,592,186	1,368,421	0	0	7,960,607
賞与引当金繰入額	946,302	464,394	312,323	2,219,460	0	3,942,479	986,561	0	0	4,929,040
福利厚生費	33,587	17,167	11,016	70,175	0	131,945	37,075	0	0	169,020
旅費交通費	163,108	80,045	53,836	380,104	0	677,093	170,044	0	0	847,137
通信運搬費	7,620	3,000	27,900	13,340	0	51,860	0	0	0	51,860
消耗品費	42,598	7,725	0	173,467	0	223,790	840	0	0	224,630
印刷製本費	6,728	995	24,018	805,677	0	837,418	0	0	0	837,418
賃借料	67,023	0	0	0	0	67,023	0	0	0	67,023
保険料	27,060	25,380	0	0	0	52,440	172,560	0	0	225,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,011	0	0	1,011
租税公課	13,800	42,900	0	527,500	0	584,200	0	0	0	584,200
委託費	0	0	0	10,600	0	10,600	0	0	0	10,600
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	330	110	0	12,098	0	12,538	330	0	0	12,868

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計		法人会計	合 計		
	公1 (教育活動)		公2 (調査研究活動)		公3 (地区活動)		公4 (啓発活動)				計	他1
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,420,224	2,420,224
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,689,247	1,689,247
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,668	60,668
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	291,062	291,062
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	218,020	218,020
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,933	15,933
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,200	14,200
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,770	22,770
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,610	16,610
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,000	21,000
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,000	36,000
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,714	19,714
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000	15,000
経常費用計	1,308,156	642,516	429,093	4,212,421	0	0	0	0	6,592,186	1,368,421	2,420,224	10,380,831
当期経常増減額	△ 473	0	0	0	0	0	0	473	0	0	△ 190,764	△ 190,764
2 経常外増減の部												0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増加額	△ 473	0	0	0	0	0	0	473	0	0	△ 190,764	△ 190,764
一般正味財産期首残高												22,580,197
一般正味財産期末残高												22,389,433
II 正味財産期末残高												22,389,433

# 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	841,297	1,040,648	△ 199,351
未収収益	215	225	△ 10
流動資産合計	841,512	1,040,873	△ 199,361
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	22,000,000	22,000,000	0
基本財産合計	22,000,000	22,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	213,220	213,220	0
特定資産合計	213,220	213,220	0
固定資産合計	22,213,220	22,213,220	0
資産合計	23,054,732	23,254,093	△ 199,361
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	115,462	141,876	△ 26,414
預り金	106,929	89,766	17,163
賞与引当金	229,688	229,034	654
流動負債合計	452,079	460,676	△ 8,597
2 固定負債			
退職給付引当金	213,220	213,220	0
固定負債合計	213,220	213,220	0
負債合計	665,299	673,896	△ 8,597
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	22,389,433	22,580,197	△ 190,764
(うち基本財産への充当額)	(22,000,000 )	(22,000,000 )	(0 )
正味財産合計	22,389,433	22,580,197	△ 190,764
負債及び正味財産合計	23,054,732	23,254,093	△ 199,361

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

- 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

- 退職給付引当金

期末退職給付の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

#### (2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	22,000,000	0	0	22,000,000
小 計	22,000,000	0	0	22,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	213,220	0	0	213,220
小 計	213,220	0	0	213,220
合 計	22,213,220	0	0	22,213,220

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	22,000,000	—	(22,000,000)	—
小 計	22,000,000	—	(22,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	213,220	—	(0)	(213,220)
小 計	213,220	—	(0)	(213,220)
合 計	22,213,220	—	(22,000,000)	(213,220)

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 広島消費者協 会事業補助金	広島市	0	5,178,192	5,178,192	0	—
合計		0	5,178,192	5,178,192	0	

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	229,034	229,688	229,034	0	229,688
退職給付引当金	213,220	0	0	0	213,220



**財 産 目 録**  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金					
	現金	手元保管	運転資金として	17,326		
	預金	普通預金				
		広島銀行本店営業部	運転資金として	784,344		
		もみじ銀行広島中央支店	運転資金として	805		
広島信用金庫本店営業部	運転資金として	38,822				
未収収益	定期預金の受取利息	基本財産(定期預金)に対する受取利息	215			
流動資産合計				841,512		
(固定資産)	基本財産	定期預金	広島銀行本店営業部	公益目的財産であり運用益を公益目的事業会計の財源としている。	5,000,000	
		定期預金	もみじ銀行広島中央支店	公益目的財産であり運用益を公益目的事業会計の財源としている。	8,000,000	
		定期預金	広島信用金庫本店営業部	公益目的財産であり運用益を公益目的事業会計の財源としている。	9,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	普通預金			
			広島銀行本店営業部	職員退職金給付の引当資産として管理している。	213,220	
固定資産合計				22,213,220		
資産合計				23,054,732		
(流動負債)	未払金	社会保険料等	3月分給与・賞与の社会保険料事業主負担分の未払金等である。	115,462		
	預り金	職員	健康保険料等の職員からの預り金である。	106,929		
	賞与引当金	職員	職員2名に対する賞与の支払いに備えたものである。	229,688		
流動負債合計				452,079		
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員1名に対する退職金の支払いに備えたものである。	213,220		
固定負債合計				213,220		
負債合計				665,299		
正味財産				22,389,433		

# 監査報告書

公益社団法人 広島消費者協会  
会長 栗原 理 様

令和5年 4月26日

監 事 国府方 あかり

監 事 川 原 直 毅

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における公益社団法人広島消費者協会の業務及び財産の状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び定款第23条に基づき監査を行い、次のとおり報告します。

## 1 監事の監査の方法及びその内容

- (1) 私たち監事は、理事会及びその他の重要な会議に出席し、理事から業務の報告を受け、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。
- (2) 私たち監事は、会計帳簿並びに関係書類など必要と思われる監査手続を用いて当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の正確性を検討しました。

## 2 監査意見

- (1) 計算書類及び附属明細書は、法令及び定款に従い、本協会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (2) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、本協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。